



う 羽 化 か

2000年12月
第23号

横 浜 漢 点 字 羽 化 の 会
〒231-0851 横浜市中区山元町2-105 Tel 045-641-1290
発行責任者 代 表 岡 田 健 嗣
編集責任者 宇田川 幸 子



待つのが
楽しい

目 次

漢点字変換ソフト「E1BRK」について（7）（木下 和久）	・ ・ ・ ・ ・	i
連載「点字から識字までの距離」（20）（山内 薫）	・ ・ ・ ・ ・	1
ふぞろいのりんご（鈴木 洋子）	・ ・ ・ ・ ・	3
カム・トゥゲザーー市民活動は今ー	・ ・ ・ ・ ・	5
（神奈川新聞より）		
点字の読みづらさと漢点字の触読について（岡田 健嗣）	・ ・ ・ ・ ・	8
川上泰一先生に出会って（第五回）（東野 トシエ）	・ ・ ・ ・ ・	13
漢点字書のご案内	・ ・ ・ ・ ・	15
「青空文庫」の利用について（青空文庫呼びかけ人）	・ ・ ・ ・ ・	17
漢字の知識を深めて欲しい・漢点字羽化の会が通信教育	・ ・ ・ ・ ・	19
（点字毎日より）		
イラスト版「漢点字ってどんな字？」(22)	・ ・ ・ ・ ・	20
報告と案内	・ ・ ・ ・ ・	26

点字から識字までの距離(二〇)

山内 薫 (墨田区立緑図書館)

十月三十日の朝日新聞朝刊の一面に「医師・看護婦障害で一律欠格廃止 厚生省、法令改正の方針」という記事が載っていた。記事の内容は「心や体の障害を理由に医師、看護婦などの免許取得を制限している関係法令の『欠格条項』について、厚生省医療関係者審議会の検討小委員会は三十日、聴覚、視覚などの障害を特定して免許を与えないとする条項を廃止する方針をとりまとめた。(中略)同委員会の検討対象は医師、歯科医師、看護婦、保健婦、准看護婦、助産婦の六種類。今回のとりまとめを受け、同審議会に関連する臨床検査技師、理学療法士など十六職種の欠格条項も見直される。」というもので、「条項からこれらの文言を削除し、障害で一律に欠格とするのではなく、『業務に支障がある』場合などに限定する」という。例えば医師法では第三条で「未成年者、成年被後见人、被保佐人、目が見えない者、耳が聞こえない者又は口がきけない者には、免許を与えない。」とあり、第四条では「左の各号の一に該当する者には、免許を

与えないことがある。」として、その第一項に「精神病者又は麻薬、大麻若しくはあへん中毒者」と記されている。また第七条では「医師が、第三条に該当するときは、厚生大臣は、その免許を取り消す。」ことになつてゐる。第十三条では「成年被後见人、目が見えない者、耳が聞こえない者及び口がきけない者は、医師国家試験及び医師国家試験予備試験を受けることができない。」とあつて、これらの障害者を全くの門前払いに処してゐる。

こうした障害を理由とした「欠格条項」や制度がどのくらい存在するかというと、障害者施策推進本部の調査では、実に六三に及ぶ欠格条項が挙げられてゐる。その欠格事由には医師法で見ると「目の見えない者、耳の聞こえない者又は口のきけない者」のように「免許を与えない」という絶対的なものと、「精神病者」のように「免許を与えないことがある」という相対的なものがあるが、例えば「目の見えない者」について見てみると、六三の内、絶対的な欠格条項が二十、相対的な欠格条項が六の資格・免許取得で見られる。これが「耳の聞こえない者」では、それぞれ十九と六、「口のきけない者」では、十八と六、四肢体幹障害者では、一と六、知的障害者では七と〇、てんかん病では三と五というようになつてゐる。もっとも甚だしいのは「精神病者(精神障害者)」の場合で、絶

対的なものが二十、相対的なものが三六という数に上る。

特にこの精神障害者を巡っては地方自治体の公的施設の利用制限も多く、自治体の条例・規則などの中で排除しているところが未だに存在する。欠格条項をなす会が調査したところ、例えば神奈川県、三市八町では、精神に異常あるいは精神異常、精神病、精神病患者などという用語が条例や規則にあつて教育委員会の傍聴ができないことになつてゐる。埼玉県では九十を越す自治体の内、実に五十を越える自治体が同じような理由を以て傍聴を許さないことになつてゐる。

この調査には図書館も含まれてゐるので興味深く見てみたが、神奈川県、埼玉県ではなかつたものの、東京の荒川区と板橋区と羽村市が「精神病、精神病患者、精神的欠格者」を入館させないことができる排除している。

こうした状況に対して、現在障害者に係る欠格条項の見直しが行われており、既に「檢察審査員」（法務省）、「栄養士免許」（厚生省）、「一般労働者の終業禁止」（労働省）の三つの制度については、それぞれ該当項目を削除することになつたという。

こうした資格・免許の中でもっとも厳しいのは自動車等の運転免許で、上に挙げたすべての障害者が絶対

的な欠格事由となつてゐる。ところで、この自動車免許の場合を海外に見てみると、オーストラリアでは障害による包括的な制限はなく、個人の運転能力によつて、昼間のみとか自宅から〇〇キロメートル以内などの条件付きで免許が発行される。オランダ、アメリカでは共にろう者に免許が与えられる。てんかんについては即諸国で統一基準があり一年以内にてんかん発作のあつた者には免許を与えないなどと規定している。また一年以内の期限付き免許や一年以内に再検査をするなどの条件付きで免許が発行される。アメリカでは州によつて違ふが発作消失期間の要件を六ヶ月間とするところが多く、中には三ヶ月間、期限を特に定めないところもある。

日本では一九九三年に「障害者基本法」が成立して「すべての障害者は、社会を構成する一員として、社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする」とされながら、同じ法制度そのものの中に未だに数多くの障害者の参加を拒む条項が放置されている。このことは障害に対する画一的な否定視と危険視に基づいた社会的な構造的な障害者の排除に他ならないだろう。

「出来ないから、危ないからダメ」という決めつけを帯びた障害者観から「どうすれば出来るようになる

のか」という当事者の視点に立った社会への問題提起が必要とされるのだろう。当事者が能力を発揮できたり参加できるようにいかにサポートするか。そのための補助的な手段の確保の問題を考えると、一つは機器の改良や開発によってある程度、部分的に障害は取り除いてゆくことが出来るだろうが、特に人的な支援をどう位置づけていくかということが今後の大きな課題だろう。

欠格条項の見直しが完了して、法制度から欠格条項が削除されたからといって問題は解決した訳では決してなく、例えばいかなる試験も点字で受験できるようになっていないければ、真の意味での機会均等にはなり得ないし、何よりも教育の現場で、その試験を受けるために必要な参考書類などが点字で保障され、個々の障害に対してはどう教育すればよいのが研究されなくてはならないだろう。そうでなければ機会均等も絵に描いた餅になってしまうだろう。

そうした状況を思い浮かべると、現在の仮名だけの点字では不十分で、漢字仮名交じりの漢点字がどうしても必要だという時期がくるのも、そう遠くはないのではないかと思うのだが……。

ふぞろいのりんご

大宮市 鈴木 洋子

友達からりんごが届いた。前以って知らされていたので、今日あたりかかと心待ちにしていたのである。長野県下伊那郡の農園からで、自然の摂理に近い手法で作ったものだという。「一見、田舎くさい、山作りの風貌ですが完熟りんごにする為、農薬、肥料など味作りに精一杯の気配りをしてあります」と、一緒に入っていたチラシに書いてある。成る程、形も少しいびつだし、お肌も荒れていて、艶やかとは言えない。中には実り過ぎのはじけ割れか、傷口が茶色くなっているものもある。箱の中のリんご一つ一つがふぞろいなのだ。店頭に並べられたら、随分と見劣りして、端に避けられてしまうだろうと思ってしまう。しかし、割ってみると、あっ！と声が出るほどに、濃い蜜が広がって、もちろん、味も、うまい。甘さとすっぱさがきつぱりとしている。この、色がまちなまのりんごは、きつと、袋かけなどしていないのだろう。

桃とかりんごの栽培農家は、果物の実がある大きさにになると、一つ一つ袋をかける。自然の、光や雨、風

にさらして、肌が荒れてしまうのを防ぐ為に。そして、アルミ蒸着したフィルムで出来ている反射マルチを畝に敷き詰め、頃合いを見計らって、かけた袋を、肌を傷つけないように気をつけてはずす。そうすると、上からの太陽はもちろん、下からも強い反射光が表面にばあっと、一度に当たって、短い時間で均一に、きれいな色が付くという仕掛けなのである。一本の木に五十キロぐらい生るとして、数にしたらいったいどのくらいか袋をかけたか、はずしたりするのだろう。使ったマルチにしても、回収して、洗って、また来年の為に手入れをしておかなくてはならない。果物の収穫だけで大忙しなのに、きつい作業だ。大変な労力をかけて、おいしくなるのならいい。だが、袋をかけるのと見た目はよくても味は落ちる。それはそうだろう。太陽の光を存分に浴びて、自然に完熟させたほうが、味も濃くなるというのが道理である。と、まあ、確信的なことを言っている私にしても、山梨で農業指導員として働いている甥から最近聞いたばかりの話だ。専門家の間では、袋かけの功罪は実証済みのことになっていてという。消費者の求める、高く売れるものを追求した果ての結果ということか。お店へ行けば、見てくれの良いものの方がおいしそうに思えて、つい手を出してしまうけれど、私たちは皆で協力して

(正しい知識を伝えあって)、感性を磨き直さなければいけないのではないか。本当の意味での豊かさを味わう為に。

そういうことを話そうと、神戸の友達に電話をかけた。彼女が、このりんごの木、一本のオーナーなのだ。マイトウリーといって、年間、一万七千円の管理料を払って、農園の人に育ててもらおう。最低、四十キロの収穫量は補償されて、それ以上採れば、もちろんもらえるし、りんご狩りとして、自分たちで、もぎに行ってもいいのだという。彼女は今回、りんご狩りをしたかったのだが、お姑さんが具合悪くなって、行けなくなつたのだ。一昨年、ご主人を亡くし、山梨にも、彼女のお母さんが一人暮らしで、そちらの方も大分配の状況にあるから、大変である。このマイトウリーを紹介してくれた彼女の友達も、長野に高齢のお母さんを一人で残して、頻繁に神戸から通っているという。もう、どちらを向いても、「親の介護」という重荷を背負つた話ばかりである。

私の母は、亡くなって四年経つ。晩年はだいぶ、周りの助けを必要とした。心身の機能がひとつづつ落ちていくのを見つめているのは辛いことだけど、人間の不思議さも感じられて、友達とよく、長電話で話し込んだ。今はもう、聞き役だけである。

茶箒箭の上に、翁とおうなのこけしが飾つてある。

これは、私が三十年も前に、父から勘当されて、北陸に行った時、輪島から両親に送つたものだ。「この縁談を断るのなら……」と、父は、脅かしの積もりだったのだろう。が、能天気な私は、勘当という言葉が気に入って、暮れから正月にかけて一人旅に出てしまった。母の葬式がすんだ時、その話をしたら、義姉も覚えていた。家中、大騒動だったという。ご迷惑をお掛けしました。送られた人は、二人ともすでに無く、対のこけしは、私の部屋に引っ越してきた。そんな、こんなを想いながら、食べたりんごはの味は、いっそう、深かった。



神奈川新聞にご紹介いただきました。

二〇〇〇年一月二〇日（月）、神奈川新聞朝刊の「カム・トゥゲザー」の欄に、本会の活動をご紹介いただきました。深く御礼申し上げます。

市民活動は今

横浜漢点字羽化の会

視覚障害者の世界を広げる

全国の読者に新聞記事などを訳す

カム・トゥゲザー

障害を取り払う「バリアフリー」という言葉が最近、クローズアップされている。バリアといえは、路上の段差や狭い入り口などを思い浮かべることができるが、視覚障害者にとつては、漢字が一つの障害になっていた。その解決のために考案された「漢点字」を広めようと地道に奮闘を続けるグループがある。横浜漢点字羽化の会だ。「漢字を知ると世界が広がることを伝えた」。そんな思いで書籍などを漢点字訳し、全国の「読者」に送り届けている。

「『精神』という言葉の『しん』はどうして『神』

なんだろう」

代表の岡田健嗣さん（五一） 〓横浜市中区〓が漢点字を知ったのは、二十年ほど前だった。「意味を考えれば、『心』が正しいんじゃないかって思いましたね」

生まれつき弱視で、視力を失ったのは十九歳のとき。盲学校でかな点字は身につけたが、漢点字は学んだことがなかったという。

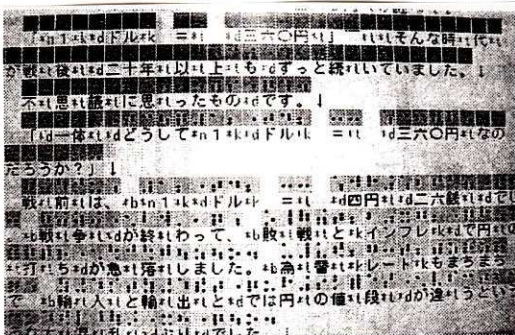
漢点字は、五十音を表すかな点字と同様に六つの点で表示するが、その上に漢字であることを示す点が二つあるのが特徴だ。文字だけで思いを伝えたいときや、同音異義語を解釈する際、とりわけ力を発揮する。

岡田さんは半年かけて通信教育で学び、「新聞で使われる漢字」をマスターした。しかし、漢点字で読める本や資料が少なく、せっかく身に付けた能力を生かしきれないでいた。

そこで、「自分で訳し、その資料を希望者に配布すれば、普及するのでは」と一念発起。会の結成当初は活動拠点もなく、「パソコンでの変換作業が思うようにできなかつた」が、ボランティアを広く募り、そのボランティアが、日本語を入力するとすぐに漢点字に変換できるソフトを開発してから軌道に乗った。

読者は現在、北海道から九州まで約二十人。漢点字訳した新聞記事や俳句などの資料を毎月送るほか、読者の希望を受け、医学書や文学なども訳す。漢点字訳した漢和辞典や専門書を横浜市中央図書館に提供してもらっている。

「こんな字が使われているとは知らなかつた」「興味の幅が広がった」。読者からは、そんな反響が寄せられる。漢点字を知らない一般の人にもその存在を理解してもらおうと、活動内容を紹介する文字の冊子も隔月発行する熱の入れようだ。



パソコンの画面には、入力した文字と漢点字が同時に表示される

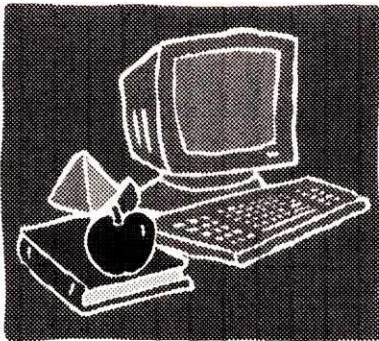
表現力を高めるとして一時は脚光を浴びた漢点字だが、岡田さんは「修得が難しく、途中で挫折してしまいう視覚障害者もいる。利用者は順調には増えていない」と指摘する。一方で、「電子メールのやりとりを楽しむ人も増えつつあるので、ニーズを掘り起こせそう」と期待も込める。



音声装置を使うなどしてパソコンを操作し、漢点字訳に取り組む岡田さん

今年五月には、他都道府県の視覚障害者らとともに、漢点字教育を盲学校のカリキュラムに取り入れるよう文部省に陳情。「今後は、既に身に付けた人を対象とするだけでなく、底辺を広げる活動にも力を入れたい」と、通信教育を手掛ける意欲も示している。

【メモ】1992年結成。パソコンと専用のプリンターを駆使して実際に漢点字訳を行うボランティアは約50人。横浜市健康福祉総合センター（桜木町駅前）9階の市社会福祉協議会の一角で活動。そこで毎月1回例会を開き、活動報告などを行う。読者は会員とは別。購読希望などの申し込みや問い合わせは、岡田さんが勤める針きゆう院までTEL03（3613）3160。



点字の読みづらさ

漢点字の触読について (9)

横浜漢点字羽化の会 代表 岡田 健嗣

四 音節符号としての点字

石川倉次先生の「日本語点字」(承前)

② 仮名文字だけの日本語点字

前回ご紹介しましたように、石川倉次先生の日本語点字は、欧米の点字、すなわちルイ・ブライユの六点式の点字の構造を基に、日本語をアルファベットで表すローマ字の表記法を組み合わせて作られたものでした。

石川先生は、ルイ・ブライユの点字表のうち1から10までは、upper 4 の四つの点でできており、1から40までが、その下の二つの点 $\ddot{\cdot}$ をそれぞれ加えた構造になっていることに気付かれました。また日本語の音は、五つの母音とその下にカ行、サ行、タ行……と、母音を頂点に配列された五十音からなっていることに着目されました。先生は、五つの母音は点字

表の1から10の半分の数であることから、ブライユの採った方法に習って、五つの基本的な点字符号に残りの点を加えることで、日本語の音が表せないかとお考えになられたのでした。表六は、その結果生まれた日本語点字の一覧です。

ルイ・ブライユは、先ず upper 4 の四つの点で点字の構成の基本的な形を作りました。石川先生は、その十の基本形のうちの、左上三つの点 $\ddot{\cdot}$ を日本語点字の基本形とされました。この点の組み合わせ五つを、日本語の五つの母音に当てたのでした。更にブライユの方法に従って、点字のパターンの六つの点の中で残っている三つの点 $\ddot{\cdot}$ を順次加えることで、五十音を表すことに成功しました。これは、ブライユに習ったものであるとともに、日本語の音を音節ととらえたローマ字の表記を参考にしたものでした。表にあるように、五つの母音に使われない点、右下の三つの点 $\ddot{\cdot}$ をそれぞれローマ字の子音に当ててその符号としたのでした。すなわち、カ行は K $\ddot{\cdot}$ (カ $\ddot{\cdot}$)、サ行は S $\ddot{\cdot}$ (サ $\ddot{\cdot}$)、タ行は T $\ddot{\cdot}$ (タ $\ddot{\cdot}$)、カ $\ddot{\cdot}$ 、ナ行は N $\ddot{\cdot}$ (ナ $\ddot{\cdot}$)、ハ行は H $\ddot{\cdot}$ (ハ $\ddot{\cdot}$)、マ行は M $\ddot{\cdot}$ (マ $\ddot{\cdot}$)、ラ行は R $\ddot{\cdot}$ (ラ $\ddot{\cdot}$) というようにです。

この音節というのは、前回記しましたように、欧米の言語では音と語意とが直結しているので、言葉にと

つて中心的な位置を占めていゝるのです。従つて点字にとつても非常に重要な要素なのです。点字を如何に読み易いものにするか、前世紀の後半にはこの音節をめぐつて、欧米の各言語において、競つて構築が進められました。その成果が、各言語の点字の略字法です。それは今世紀に入つても引き続き進められて、今日ではコンピュータにマツチして、処理し易くしかも読み易い点字の構築が目指されています。

しかし、残念ながら石川先生の日本語点字では、欧米の言語の特徴である音節と語意との直結性を以て日本語に應用できると考えたところから、日本語では、音を表すだけのものとなつて、仮名の点字だけが考案され、使用され、残存することになりました。日本語という言語は、欧米の言語のように音と語意とが直結されずに、意味を持った文字であつて、しかも外来の文字である漢字がそこに介在してはじめて言葉としての機能を果たすことに、目をつぶつてしまつたのです。このようにして、点字は、一般の文字との交通を欠いたまま、それだけの世界を形成して行きました。そして、視覚障害者の言語の世界は、望むべくもなく閉ざされるに任されたのでした。

しかし、遅きに失したとは言へ、日本語点字が公認されてから約八十年を経て、川上泰一先生によつて、

点字の漢字『漢点字』が世に問われることになりました。

五 点字の成立とその周辺

《最近では外国人の日本語学習者がふえているが、彼らが最も頭を悩ますのは漢字である。これ以上漢字をふやすなどという論議はいつの時代にも絶えず、その淵源は江戸時代の新井白石や賀茂真淵にまで遡る。ここから進んで、いっそ漢字を全廃してしまえ、という主張が出てくる。明治の初期にも同じような動きがあつた。》(紀田順一郎著、『日本語大博物館』ジャストシステム、一九九四年)

《御一新が成つて文明開化、富国強兵の道をまつしぐらに進みはじめた日本にとつて、焦眉の急を要する問題は教育の近代化だったが、なにしろ自分の姓名も書けない者が四割近くに達していた時代である。教育の能率を上げるため漢字を制限せよという主張が現れたのは必然であつた。とくに鹿鳴館時代には、「漢字を全廃し仮名やローマ字にせよ」という主張まで現れた。》(同)

カナ文字とローマ字

我が国で点字が公認されたのは、明治二三(一八九

○)年でした。その年は、国会の開設という、世界へ向けて我が国が近代国家の形を備えたことを宣言した年でもありました。

徳川幕藩体制を倒して、明治維新を達成した明治政府も、もとは薩長藩閥政権でした。しかし欧米列強の覇権は、インド、インドシナ、中国と、次々に植民地を広げていた時で、明治政府は、徳川幕府では行い得えなかつたこととして、我が国を欧米列強に並ぶ強国にする改革をおこなわなければなりませんでした。それが富国強兵というスローガンとなつて、近代産業の勃興と、軍事力の増強、それを下支える民意の向上が急務とされたのでした。同様に、近代国家として求められた近代的な制度の導入、すなわち行政府と立法府の分離、成文法による統治、中でも教育制度の確立が必要とされました。

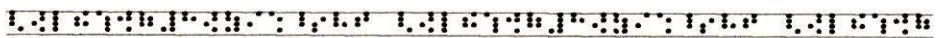
視覚障害者にとつてもこの改革は大きな意味を持っていました。普通教育の施行は、故なく教育を受ける権利を侵すことを許さない制度です。欧米ではそのように考えられて、身体障害者にも教育を受ける権利を認めるようになりつつありました。明治政府も、一般の義務教育を教育制度の柱として導入しましたが、身体障害者には適用されず、第二次世界大戦後にならなければ実現しませんでした。それでも曲りなりにも近

代的な考え方に則つた教育は始まつたのです。

ここに取り上げた、紀田順一郎著『日本語大博物館』(ジャストシステム)には、当時の文字表現の手法と、その水準が精緻に表されています。徳川時代からの身分制をいきなり取り外されて、武士も百姓もない、みんな平等だ、名字も付けてよい、と言われて、普通教育は始まりました。さて、直ぐそれに習うことができたのでしょうか。国民の四割が時分の名前さえ書けなかつたという時代です。それまで教育を受ける機会の乏しかつた人々にとつて、それは無理なことではなかつたに違いありません。そのような状況下で普通教育が始まつたのですが、教育と言われるのは、先ず「文字」の習得を目指すものです。そこでこの非識字率四割というのが、大きな壁と感ぜられるようになったのでした。

郵政の父、前島密や、国語辞典の開祖(言海)を編んだ大槻文彦が、漢字習得の困難を理由に、漢字の制限と日本語の表記を「カナ文字」にせよといい、下つて大正から昭和にかけて、実業家の山下芳太郎が、漢字の複雑さを理由に、簡便な文字表現として、やはり「カナ文字」の有要性を解きました。

また、日本語をアルファベットで表記する「ローマ字」が考案され、大正から昭和にかけて、物理学者の



表一 ルイ・ブライユの点字符号表

1.										
	1a	2b	3c	4d	5e	6f	7g	8h	9i	10j
2.										
	11k	12l	13m	14n	15o	16p	17q	18r	19s	20t
3.										
	21u	22v	23x	24y	25z	26	27	28	29	30
4.										
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40w
5.										
	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
6.										
	51	52	53	54	55	56				
7.										
	57	58	59	60	61	62	63			

ENGLISH BRAILLE, AMERICAN EDITION 1977:
American Printing House for the Blind

川上泰一先生に出会って（第五回）

東大阪市 東野 トシエ

テキストの『欧州紀行』を読み（承前）

川上先生は、「盲人に漢点字で日本文を読ませてやりたい、盲人にも漢文を原文で読ませてやりたい。わしが死んでもわしが創案した漢点字で日本文学を読み日本語の醍醐味を堪能してくれ。盲人も国文学科に進学してくれ。盲人の文学博士も夢ではないぞ。国語の教諭の誕生を望んでいる。英語も漢点字で勉強すると理解力が高まる。物理の教科書や盲教育についてを漢点字で作成したい。漢点字を使うようになると盲人の職業の選択肢が増えるぞ」とよくおっしゃり、漢点字を利用するようになると盲人の教養が高まることを確信しておられました。また、漢点字は速記文字として墨点で書くこともできます。これは川上先生はじめ眼者が利用し、十分使えると重宝しておられます。だから漢点字は漢字の最終の略字になると川上先生はおっしゃっておられました。

『盲教育30年』という題名だったと思いますが、

『新星通信』（日本漢点字協会から発行されている漢点字の雑誌）に連載して下さっていましたので、お読みになられた方もたくさんいらっしゃることと思います。

『漢点字解説』の学習も修了に近付いたころ、川上先生はオーストラリアに御旅行され、コアラのキーホルダーをいただきました。「土産はキーホルダーがいっぱい」とおっしゃいました。今も大切に使用させていただきます。

確かフランスの方だったと思いますが、漢点字を学習して下さる方がいらっしゃり、大変喜んでおられました。「英語で会話するのに、アメリカ人やイギリス人よりフランス人の方がええぜ。日本人も向こうも自分の国語は英語と違うやろ、せやからフランス人の英語の方が都合がええのや」とおっしゃっておられました。

『漢点字解説』の前編後編を修了したころ、漢点訳者も加わって下さり、8冊の『漢和字典』や『漢方概論』をはじめ漢点訳本もぼつぼつ作成して下さるようになりました。ところが漢点訳者のおひとり、ハンセン氏病の方は一般の点字図書館から本を借りて読めないことをご存じになり、そちらの点訳を中心にする

でしたが、「それもいいです」とおっしゃいました。川上先生の了見の広さを感じました。

それから、4行書きの懐中定規も完成し、川上先生も大変喜んでおられました。「漢点字で書かれた本を読んでも、これで漢点字を書きなさい。漢字の知識を蓄えておきなさい。今にコンピュータで、漢点字で書いたものが墨字になり、墨字が漢点字になるそういう時代が来るぞ」とおっしゃいました。ほんとうに川上先生は先見の明がおありだったなあと思います。

このときは夢のような感じで聞いておりましたが、今日では、パソコンは個人で持てますから、インターネットなどを利用してテキストデータの送受信は容易です。

それから、村尾氏開発のものですが、漢点字直接入力できるぼつぼつ君というキーボードがありますし、Windowsとぼつぼつ君の連絡役を務めるPotKeyというソフトがあります。ピンディスプレイに漢点字交じり文で表示するOPQRやWZ上で漢点字を仮名点字読みするMTALKというものもあります。そして、漢字から漢点字へ漢点字から漢字へと相互に変換し、テキストファイルで管理していますのでワープロで墨字印刷もできますし、ワープロで入力されたものを漢点字交じり文のプリントもできるOPと

いうソフトがあります。

ですから、テキストデータであればその場で漢点字プリントして、漢点字交じり文で読むことができます。しかし、テキストデータから従来の点字への変換は困難ですので、漢点字は読めないのが従来の点字でということになりますと、数日・数ヶ月待たなければならぬという時代になりました。川上先生は「将来の盲人の世界は漢点字利用者が先導するようになる」と誇らしげにおっしゃっておられたのはこのことだなあと思います。

ちなみに、私はこの拙文を書くのに、Windows上でPotKeyを利用しぼつぼつ君から漢点字直接入力し、WZやMTALKをも使い、OPQRで確認しています。OPで漢点字プリントして提出しようと思っています。

また、外国ではテープからのデータ入力は盲人の職業とされているようですが、日本では漢字がネックとなりできなかったことです。しかし、新職業として今日では漢点字を利用し、議事録などをテープからデータ入力する作業をされている方もいらっしゃると思います。これは、一般教養や専門知識などが必要なのではないでしょうか？私は講演などのテープからデータ入力させていただいていますが、私の力量不足も

手伝つて、方言などの語尾がはつきり聞き取れなくて困ることもあります。

私が漢点字を習い始めたころは既に、『漢点字』と呼んでいました。ところが、昭和50年ころ『新星通信』を發行されたころだと思いますが、「『漢点字』かそれとも『点漢字』かどちらがよいかと言われ、最初に漢字があり、そして点字があつてできたのですからやはり『漢点字』の方がいいと思いますし、それに響きも『漢点字』の方がいいですよ」と川上先生と話した記憶があります。とても大切なことをものすごく軽い気持ちで言つたと自分自身に驚いています。川上先生が真劍にお考えになられて『漢点字』と命名なさいました。『漢点字』のことを『点字の漢字』とか『点漢字』とか『8点漢字』などいろいろな名で呼ばれていますが、そういうことをすると川上先生は御立腹なさいます。漢点字を利用しているものはきちんと『漢点字』と呼んでいただきたいと思いません。

『新星通信』を發行されるに当つても、「漢点字の雑誌を發行しようと思ふんやけん、雑誌の名前どんなのがええやろ！親しまれるような名前がええなあ・・・」と真劍に考えて名付けられました。

『欧州紀行』を読み終えて、見送つて下さるとき廊下を歩きながら、「このごろ忙しいんや、時間がのう

てな・・・」とおつしやるのですが、教室では懇切丁寧な御指導で、思い出話などをして下さるので、私たちは時間が経つのも忘れて川上先生の話しに引き込まれていました。

(つづく)

漢点字書のご案内

左に、二冊の漢点字書のとがきをご紹介します。著作権者並びに発行者の皆さまには、深く御礼申し上げます。

(一) 江國滋著『微苦笑俳句コレクシヨ』

(実業之日本社、一九九四年)

『週刊小説』(自一九九二年四月二十四日号・至一九九四年四月一日号)に連載した『微苦笑俳句コレクシヨ』全三百十句から二百三十六句を選び、四季(プラス「新年」)に再構成したものが本書である。

一読、うふふ、と含み笑いを漏らしたり、にやり、としたくなるような俳句がある。名づけて、「微苦笑俳句」。もともと「微苦笑」という言葉は、作家で俳人でもあつた三汀こと久米正雄(一八九一〜一九五二)の造語だが、すでにこなれた熟語としてひとり歩きして久しいので、タイトルに冠した。

同じユーモアでも、川柳が、諷刺、皮肉、うがちの要

素を基調とするのに対し、俳句のそれは、なんとはなしのおかしさ―すなわち俳諧の「諧」を基調とする。

毎月の俳句総合誌、結社誌、それに個人句集、さらには私が選者をつとめている婦人雑誌の投稿句の中から、ほどのよい諧謔味を備えた句が目につくたびにノートに書きとめておいたもので、作者については有名無名を問わない。

採録させていただいた作者の方々には、御礼のこともない。感謝の意をこめて、お名前を巻末に掲げさせていただきます。

平成六年七月 江國 滋

(二) 志村ふくみ著『母なる色』

(求龍堂、一九九四年)

「今までとおったことのない道」・「みたことのない風景」・「感じてから見る」

ノートの端にこんなことをかきつけてあるのをちらっと目にとめて、あとがきは明日かこうと床についた。

あけ方にこんな夢をみた。どこか宋元画の世界のような、まるで知らない道だった。低い家並は竹の皮の裏側を屋根に葺いたような白い飴色に光り、黄緑の竹やぶにかこまれていた。しばらくすると、砂岩のようなやわらかい崖があって、その上に見知らぬ中老の婦人が立っていて、「ここですよ、上つていらつしやい」と手招きした。私が訪ねてゆくのはその人だと、その時わかった。

併し、階段もなくかなり急な斜面だった。崩れそうなその斜面を私は一気に登つてもう少しで手が届きそうだったのでその婦人の手を求めたが、手は出なかった。そのあたりに婦人はいる気配がするのにも、足もとの砂が少しくずれそうになつて目が覚めた。

あとで気づいてみると、その婦人は私がさがし求めている人で何かを聞きたいと思つていたのであった。どこの国の人か、何をやる人かも分らない。併し必ず出会う人ようだった。昨夜のノートに「感じてから見る」とかいてあったが、何かを見たり知つたりしてからそのものを感じるというのはあたりまえのことだが、見てもいいものをまず感じるということがあり得るだろうか。それは時間でいえば何分の一秒か、針の先ほど感じることに先なのだ。どこかで順序が逆転している。しいて言えば心のしげみに入つてゆくというのか、現実にしつかり目をすえている若い時には気づかなかつたが、年をかさねて少し夢の世界に近づいたのか人しれず茂みのなかにふみこんでいるようである。あけ方の夢はその先ぶれであらうか。誰かに出会うのか、誰かではなく、まだ見知らぬ自分に出会うのかもしれない。けれどそれは手をおしてくれない。最後の一ばん崩れやすいところを身を軽くして登りきらなければならぬだろう。

まだ熟考しなければならぬ。本にまとめるなどまだ

先のことだと思っていたが、「何しろ書いてみて下さい。まず書くことです」と編集者の吉田さんに励まされ、筆をとってみた。なるほど吉田さんのいわれるとおり、書けば何かそのあたりが明るくなり、何となく筆が続くかな、と思つてさて立ち止まると、心が震いつくように躊躇されて、こんなものではないかと思ひこむのである。

とくに「母なる色」はこれからという気がして、もっとあたためて、潤かな色が匂い立つのを待っていたが、ほんの門口に立ったところ、これからも続けたいと思つている。しかし、久しぶりに織の手を休め、別の世界に目をむけてみることもあって、良かったと思つている。

求龍堂の皆様、吉田弘子さんに心から感謝する。

♣ 「青空文庫」の利用について ♣

本会では、インターネットのホームページにある「青空文庫」のデータを利用していただいて、漢点字の書籍の拡充の方法の一つとできればと考えております。このような希望を同文庫の運営に当たっておられます方々にご相談申し上げます。大変快くご了承いただきました。御礼申し上げます。

現在は検討段階ですので、ここに「青空文庫」の利用規程を掲載します。読者諸氏の意見を給れば幸甚です。

◎ 青空文庫収録ファイルの取り扱い規程 ◎

青空文庫呼びかけ人 1999年8月1日

人の思いや考えに、より多くの人が、より自由にふれられるようにと願つて、青空文庫を開きました。

たくさんの方の無償の働きを得て、収録作品がふえ、利用者も増加しています。文庫の成長につれて、さまざまな読み方や使い方を工夫したいという希望も、寄せられるようになりました。

収録作品に対して、何ができて何ができないのかをはつきり示せば、広がり始めた輪は、さらに遠く及ぶだろう。そう考え、文庫に集う皆さんとの論議を経て、以下の通り、ファイルの取り扱い規程を定めま

す。

青空文庫の作品は、これに従つて使ってください。

この規程では、ウェブブラウザで青空文庫、もしくはそのミラーサイトにアクセスした人を、「あなた」と呼びます。

「青空文庫側」とは、inf@aozora.gr.jp で連絡の取れる呼びかけ人と、作品の電子化にたずさわった、

入力者、校正者、ファイル作成者のすべてを指します。

「ファイル」とは、図書カードからリンクされている、個別の作品を意味します。テキストファイル、HTML版、エキスパンドブック版、PDF版など、すべての形式のものを含みます。

ファイルは、誤りを含んでいる可能性があります。誤りに気付かれた際は、info@ozora.gr.jp 宛にご連絡ください。確認、修正の後、ファイルを差し替えます。

ただし、ファイルを用いたことで何らかの被害があったとしても、青空文庫側は責めを負いません。

著作権の切れている作品

あなたは、ファイルをダウンロードできます。

ファイルには、作品名、著者名、翻訳者名、底本などに関する情報、入力者名、校正者名、ファイル作成者名、ファイルが公開された日付、修正された日付、「青空文庫作成ファイル：」以下の由来に関する注が記載されています。これらを削除しなければ、あなたはダウンロードしたファイルを、有償であるか、無償

であるかを問わず、複製し、再配布することができます。

複製、再配布に先立って、ファイルフォーマットを変換したり、ルビや外字、傍点などの注記形式を変更することも可能です。

さらに、どの底本に基づいたファイルにどのような変更を加えたかという作業履歴を明記すれば、異なる底本に合わせて字句をあらためたり、著作権法第二十条第二項四に適合する範囲のみ、旧かな、旧漢字を現代表記にあらためるといった、用字用語の書き換えができます。

【著作権法第二十条第二項四】：前三号に掲げるもののほか、著作物の性質並びにその利用の目的及び態様に照らしやむを得ないと認められる改変

これらのいずれを行うにあたって、あなたは青空文庫側に対価を支払ったり、了解を求めたりする必要はありません。

著作権の切れていない作品

あなたは、ファイルをダウンロードし、著作権法第三十条に規定された私的使用の範囲内において、これを複製することができます。

【著作権法第三十条】：著作権の目的となっている著作物（以下この款において単に「著作物」という。）は、個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用すること（以下「私的使用」という。）を目的とする場合には、公衆の使用に供することを目的として設置されている自動複製機器（複製の機能を有し、これに関する装置の全部又は主要な部分が自動化されている機器をいう。）を用いて複製するときを除き、その使用する者が複製することができる。

私的使用の範囲を越える複製、再配布は、著作権者の許しがない限り、できません。

図書カード、ファイル中、もしくは図書カードからリンクした作者にかかわるウェブページに、著作権者による特別の許諾が明記されていれば、あなたはその範囲内で、複製と再配布を行うことができます。

翻訳された作品では、書いた人に加え、訳した人にも著作権が生じます。書いた人の権利が切れていても、訳した人の権利が生きていれば、その作品は「著作権の切れていない作品」に該当します。

S S S S S

「「点字毎日」2000年12月10日号（点字版）より」

漢字の知識を深めて欲しい 漢字字羽化の会が通信教育

視覚障害者とボランティアが集まって、漢点字の普及に取り組んでいる関東地区のグループ「漢点字羽化の会」が、通信教育の準備を進めており、受講者の募集を始めた。一人一人のペースに合わせ、続けて興味を持ってもらえるような教材作りを旨ざりたいという。

同会は、漢点字を学んだ視覚障害者と、点訳ボランティアを中心に組織し、漢点字で読める資料を増やす活動を続けてきた。最近ではパソコンやワープロを使って、墨字文を書く視覚障害者が増え、漢字に触れる機会が多くなっている状況をうけて、改めて漢点字を学んでもらいたいとの願いが、会員の中に強くなっている。そこで、漢点字を基礎から学べる通信教育で、漢字の知識を深めてもらうのがねらい。東京近郊の人には、講習会のような集まりも考えたいとしている。

通信教育では、漢字の作りを指で確認できるように点図を活用した資料も提供できるように、研究していきたいという。問い合わせは、電話03（3613）3160の八木沢療院内、岡田さん。

漢点字ってどんな字？ 22

1マス漢点字（第一基本文字）

	あ段	い段	う段	え段	お段
あ行	☆ ☆	*糸 *系 *比 *数	家 宿 学	*言 語 ☆	*頁 *貝 ☆ ☆
か行	*金	*木	草	*犬	*子
さ行	都	*市	発	*食	*馬
た行	*田	*竹	*土	*手	*戸
な行	*人 仁 一	*水 氷 一	*力	*示	私
は行	走	進 *火	*女	*玉	*方
ま行	*石	*耳	*車	*目	*門
や行	病	犬	行	魚	店
ら行	*月 *肉	分 *日	性 心	*口 囿	*十 *止

いつもの表ね。



みき
未来ちゃん

まだやってないのは
数だけだ。



しろう
志郎君

一マス漢点字もう覚えたかしら？

おねえさん





お 前回は〈対象基本文字〉を勉強したわね。

未 〈対象基本文字〉って、前置符号が付いた漢点字のことね。前回は比較文字。

お 比較文字ってどういう文字だった？

志 意味の上から二つ、三つ、四つの文字をグループとしたもので、形声文字の部首になるものだね。

未 漢点字では、の形で、

の符号が一マス目にくるのよ。

比較文字

東 上 父

西 中 母

南 下

北



お 対象基本文字にはもう一つあるわね。

未 やっぱり文字の意味の上からグループに分けたのよ。

対象基本文字の二つ目は「漢数字」


志 そうか、漢数字も一まとまりなんだ。


でもその前に算用数字を復習しようよ。

★点字の算用数字★

① 数字の点字は、1から0の十個で六点のうちの上四点を使う。



② この点字符号の前に、数字を表す符号〈数符〉を付ける。数符は、



志

数字の点字符号は、五十音の「ア」行、
「ラ」行と同じだし、アルファベットの
「A」から「J」までと同じだからね。
数字であることがすぐわかるよう
にできているんだ。

未

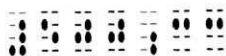
そうそう、点字って符号を前に付けて
その文字の種類や性格を表すことが
多いのよね。

志

数字は（数字 $\begin{smallmatrix} \dots \\ \dots \\ \dots \end{smallmatrix}$ ）だし、
アルファベットは（外字符 $\begin{smallmatrix} \dots \\ \dots \\ \dots \end{smallmatrix}$ ）
だね。



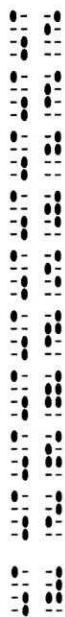
5 0 0 c c



数字 $\begin{smallmatrix} \dots \\ \dots \\ \dots \end{smallmatrix}$ や
外字符 $\begin{smallmatrix} \dots \\ \dots \\ \dots \end{smallmatrix}$ は
ひとまとまりごと
に一つ付ければ
いいんだ

★★点字の漢数字★★

一 二 三 四 五 六 七 八 九 (〇)



志

数字の点字の符号は算用数字といっしょだ。
カッコの中の〇ってなに？

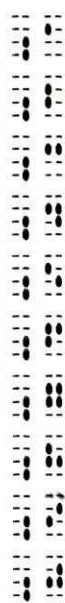
未

漢数字の〇（ゼロ）は、漢字ではないけど
電話番号なんかを漢数字で書くことが多い
ので、川上先生は、これも8点の漢数字に
したのよ。

志

へえ、漢数字は、上の漢点字の符号を取る
と、アルファベットといっしょなんだ。

a b c d e f g h i j





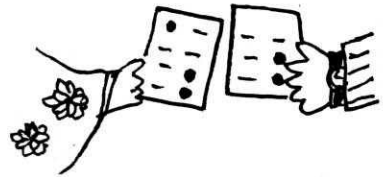
は 外 字 符



は 漢 数 符

お 漢数字ってまだ
他にもある？

未 漢数字が付いた字ね。
まだたくさんあるわ。



百 千 万 億 兆

未 漢数字について、整理してみるわね。

① 一から九までの、一の位がある。

これは算用数字と同じだね。

② 百、千、万と、十倍ずつ位取りの数字がある。

十は、点字では漢数字の仲間に入っていないね。

志 未

十 には、漢数字がないわ。
一マス漢点字だからね。

十は漢数字としてばかりでなく、
一マスの基本文字として
大事な部首だからなんだね。

でも、十倍ずつで位が上がるのだから
漢数字としての十も欲しかったよね。



うちの子じゃ
ない！

あいつ
漢数字が
付いて
ないよ



だって…

ぼくはほんとは
一マス漢点字



③ 万より上の位は、一万倍ずつ位が上がる。

億は万の一万倍、兆は億の一万倍。

④ 漢数字は、一の桁の数と、位をあらわす数を組み合わせる。

そこが算用数字とちがうところだね。

一億二千三百四十五万六千七百八十九

お
算用数字と同じように
書くこともあるわね。

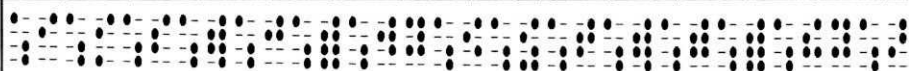
〇三・三六一三・三一六〇

縦書きの
電話番号は

漢数字でも同じように
書いていいのよ。



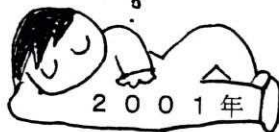
もし
もし



もうすぐ新世紀



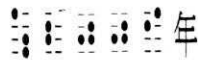
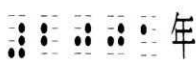
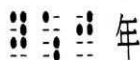
もう少し寝てよっと



平成十三年



平成はやつぱり
こっちの書き方
がいいな



未 あれ、こんな字にも漢数字が：

甲 乙 丙 丁



志 甲・乙・丙・丁も

漢数字なの？

未 昔の通信簿みたい。



お 中国の古い曆に使われた日付を表す

文字よ。その意味でも、数字なのね。

志 甲は「きのえ」、乙は「きのと」とも

読んで、年をあらわす時にも使うよね。

お これは「十干（じつかん）」

と言っ、

中国の古い考え方が
この文字には
含まれているのよ。



お これで1マス漢点字全部と、

それに関連した2マス漢点字の
勉強が終わったわね。

志 いくつ覚えたかな？
なんか急にふえてきたね。

未 ああ、もう数えられない。

漢点字って、一つ一つを

関連づけて理解すると、
どんどん覚えられるのよね。



(作 岡田・ 絵 吉田)

【1】報告とご案内】

1. 表彰：本会の読者で、栃木県立盲学校で教鞭を執っておられます小池上惇先生が、平成十二年度、栃木県教育関係職員模範教員として表彰されました。日頃のご研鑽の賜とお慶び申し上げます。おめでとうございました。

2. 漢点字学習者を募集：神奈川新聞と点字毎日にご紹介されましたように、漢点字を学びたい方を募集します。通信講座を原則としますが、お近くの方には、ご参集いただいた際の講座も計画しております。

視覚障害者もEメールを発信し、インターネットを駆使する時代になりました。漢字のバリアを克服する人が社会に受け入れられる時代になりました。漢点字の読み書きをマスターすることで、漢字のバリアフリーを実現しましょう。視覚障害者の皆さま、視覚障害者を支援して下さるボランティアの皆さま、視覚障害児をお持ちになるご両親の皆さま、お気軽にお申し込み下さい。

3. 漢点字訳の月刊で発行しております健康記事に盛られなかったもの内、以下の記事の漢点字訳が完

成しています。ご入用の方はお申し出下さい。価格は実費（点字用紙1枚10円）です。

（全て昨年来の、読売新聞掲載『医療ルネサンス』より、1部15枚前後）

「胃食道逆流症」 「山村に生きる 介護保険を前に」 「子どもに笑顔を 病院ボランティア」 「難病の子に夢を 平君と支援者の16か月」 「体のリズム 時間治療の試み」 「若者とエイズ」 「手術後の突然死 増える肺塞栓症」 「介護日記 アルツハイマー病の妻」 「心臓をいたわる」 「進化する放射線治療」 （前号紹介分） 「ぶり返す結核」 「糖尿病 怖い合併症」 「医事紛争 真実を知りたい」 「角膜移植を考える」 「変わる診療所」 「てんかんを考える」 「膀胱がんと言われたら」 「不況で死なないで」 「パーキンソン病と闘う」 「がんと心 患者・家族を考える」

4. 漢点字、月刊の発行物

朝日歌壇、6カ月3,000円、テープ版、同600円。

朝日俳壇、6カ月2,400円、テープ版、同600円。

新聞の健康記事、6カ月1,500円。

5. 「横浜通信 羽化」漢点字版のみ。購読料は無

料。

漢点字の読みの熟達をサポートする目的で、漢字、故事成語など言葉に関わる記事、お医者様のご執筆になる『いのち』からの健康情報などで編集しています。ご一読下さい。

鹿はみな置きたるごとく寒の雨

田村 木国

新巻の塩のこぼれし賑はひや

角川 照子

金銀の紙ほどの幸クリスマス

沢木 欣一
(『歳時記』より)

編集後記

二十世紀も、残りわずかばかりとなりました。

この時期、忘年会、クリスマス、年越しの準備とあわただしく過ぎていきますが今年には世紀の変わり目、みなさまどのような年の瀬をお過ごしでしょうか？

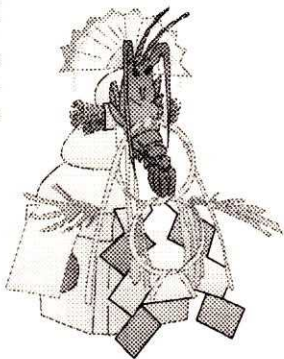
寂しいような、わくわくするような、思いを感じている今日このごろです。

二十一世紀には、漢点字の通信教育開催(予定) 会員の漢点字講習会が開かれます。

本会のよりいっそうの飛躍を願い、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

次回の発行は二月十五日です。

宇田川 幸子



※本誌(活字版・テープ版・ディスク版)の無断転載はかたくお断りします。

前号で一応、MS-DOS版のEIBRKの操作についての説明を終了とし、今回からWindows版のEIBRK(プログラム名はEibrkw.exe)について説明します。

Windows版の漢点字変換システムEIBRKは、Windows95、98または2000のもとに動作するアプリケーションで、標準的には自己解凍式の圧縮ファイル(Eb.exe)として、システムのインストール・マニュアル・ファイルReadMe.txtとともにフロッピーディスクで提供されます。このReadMe.txtファイルをメモ帳などで開けば(マイコンピュータまたはエクスプローラで、このファイルをダブルクリックする)、インストールに必要な情報は、すべて書かれており、また操作の方法に関するマニュアルは、システムをインストールした¥Tenjフォルダーに収容されているReadMe_N.txtファイルに書かれています。ここでは、それらの内容に沿って、更に若干の説明を加えながら解説していきたいと思います。

1. インストール

(1) ファイルのコピーと解凍

まず最初にシステムの入ったフロッピーディスクを、フロッピードライブに入れます。ここにはReadMe.txtと、¥Tenjというサブディレクトリが入っています。マウスポインタをこの¥Tenjフォルダーに合わせて左ボタンを押してこのフォルダーを選択状態にし、そのままマウスでこれからインストールするドライブまで引っ張って行きます(マウスの左ボタンを押したままでマウスポインタを目的のドライブのところまで持って行く……ドラグ・アンド・ドロップ)。インストールするドライブはどれでもかまいませんが、通常はC:(一般のWindowsパソコンの場合)またはA:(PC9821以前のNECパソコンの場合)のルートドライブが

いいでしょう。

以上の方法によると、Eibrkの圧縮されたファイルセット (Eb.exe)が、選択したドライブの¥Tenjというフォルダーにコピーされます(フォルダーは自動的に作成されます)。この圧縮ファイルを、この位置でダブルクリックしますと、必要なファイルセットが解凍(展開)されます。このフォルダーの名前を変更したい場合は、インストールしてからハードディスクの上で変更できます(名前を変更したいフォルダーにマウスポインタを合わせ、右ボタンをクリックして「名前の変更」を選ぶ)が、できるだけそのままお使い下さい。この¥Tenjフォルダーの下に作られる¥Docというフォルダーが標準的なテキストファイルの入れ場所になります。ここには変換例として、test.txtというファイルと、それを変換してできたtest.txhとtest.txzというファイルが入れてあります。

次にインストールされた新しいフォルダー(上の例では¥Tenj)をクリックして、ファイル一覧を出します。この場合、ファイルの拡張子が見えないと不自由なので、もし拡張子が表示されていない場合は、以下に説明する方法で表示するようにして下さい (Windowsの標準では特に指定しないと拡張子は表示しないことになっています)。

ファイルの拡張子表示の方法：マイコンピュータまたはエクスプローラでコントロールパネルをダブルクリックします。一番上のメニュー項目中の「表示」をクリックし、一番下の「フォルダオプション」をクリック、そして「表示」タグを押すと詳細設定のリストが出てきます。この中で、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」にチェックが入っていたらクリックしてこれをはずします。また、その下の「表示されないファイル」では「すべてのファイルを表示する」を選択するようにして下さい。

(2) 外字ファイルの登録

このシステムでは、画面に点字を表示するために外字を使用していま

す。それらを表示するためのファイルを、適切な方法でシステムに登録しないと画面に点字が表示できません。外字ファイルの登録については、「うか」の5号で説明してありますが、ここでもう1度説明します。

外字ファイルは、TBGAIJ.TTEとTGGAIJ.TTEで、¥Tenjフォルダーに含まれています。前者は、点のないところに小さな横線を入れて、点の位置をわかりやすくしたもので、後者は点のないところには何もないようにしています。実際に印刷された点字のイメージに近いのは、後者ですが、点字そのものをチェックするには前者のほうがわかりやすいでしょう。

外字ファイルの登録は、まず「スタート」ボタンを押してプログラムの中から「アクセサリ」の「外字エディタ」を選んでクリックしてこれを立ち上げます。以下、Windows98の典型的な画面を想定して説明を進めます。Windows95では若干様子が違いますが基本的には同じようなものです。

このプログラムが立ち上がると、「コードの選択画面」が先に出るのでこれはキャンセルし、メニューの「ファイル」から「指定したフォントにリンクする」を選びます。そうすると、「フォントの選択」画面が有効になります。この中で、画面表示と印刷に使うフォントの種類を選びます。通常は「MSゴシック」や「MS明朝」などでしょう。画面表示にはMSゴシックが使われています。何も外字が登録されていない場合は、右側に「未選択」と表示されています。目的とするフォントにマウスポインターを合わせて、ダブルクリックすると、「外字ファイル名の変更」の画面になり、ファイルを選ぶようになります。ここで先ほどのTBGAIJ.TTEまたはTGGAIJ.TTEのあるフォルダー（標準的なインストールの場合はC:¥Tenj）を選んでダブルクリックすると、目指すファイル名が出てくるので、それをダブルクリックします（またはシングルクリックしてから「保存」を押す）。そうすれば、ここで選んだファイルが、先に選んだフォントに割り付けられます。これは、必要とするフォントすべてに割り付けておかなければなりません。通常はよく使うMS明朝とMSゴシックに

設定しておけば十分でしょう。これは面倒なようですが、これをうまく利用すると、明朝体の印刷のところでは横線付きの点字が印刷され、ゴシック体のところでは横線なしの点字が印刷されるというように2つの点字パターンを使い分けることができます。

以上の方法でこれらの外字ファイルが登録されると、MSワードや一太郎などのワープロソフトや、その他一般のエディタでも点字が外字として利用でき、またプリンターに打ち出すことができます。

(3) ショートカットの作成

Eb.exeを解凍した¥Tenjフォルダーには、Eibrkw.exeというプログラムが含まれています。デスクトップにこれらのプログラムのショートカットを作っておくと、便利です。

それにはまず、マイコンピュータかエクスプローラで¥Tenjフォルダーを表示し、その中からEibrkw.exeというファイルを探します。このファイルにマウスポインタを合わせて、右クリックし、「ショートカットの作成」をクリックします。そうすると、ファイル一覧表の中にEibrkw.exeのショートカットができますから、これをデスクトップへドラグ・アンド・ドロップします。ここで自動的に付けられる名前はかなり長いので、お好きなように名前を変更して下さい。もちろん、Eibrkw.exeはこのシステムのメインプログラムですが、Txtconv.exeは操作マニュアルの中で説明するように、テキストファイルの中の点字を表示する外字コードを、ここで使用するWindows用のものからの一太郎で表示可能な外字コードに変換したり、本来全角で入力すべき文字が半角で入っているのを全角に変換したりといったファイル変換のツールです。

これらのプログラムについても、同様にショートカットを作っておくと便利です。これらのショートカットがデスクトップにあると、エクスプローラなどから目的とするテキストファイルをドラグ・アンド・ドロップして、直接ファイル読み込み立ち上げをすることができます。

(以下次号)